

作家の加賀乙彦さんが講演します

私ども日本トルストイ協会は、通常の学会と違って、トルストイの作品や考えに惹かれる市井の愛好家と研究者と一緒に集まり、毎年2回、3月と9月に講演会を開いています。

日時:2017年3月11日(土) 午後2時開会

会場:昭和女子大学 学園本部館3階中会議室

講演時間は約80分の予定で、自分とトルストイの関係について話してみたいと言っておられます。「愛読者の一人としてトルストイをどのように読んできたか」、さらには「自分の文学の中にトルストイからどんな影響を受けてきたか」といったお話が中心テーマとなりそうです。

昨年2月には集英社文庫ヘリテージシリーズ『トルストイ』が加賀乙彦編で出版され、冒頭の「戦争と平和」ダイジェストを担当されました。「トルストイの小説の持つ、史実とフィクションの関係をなるべくわかりやすく読者に伝えたくて試みたものである。これを読んで面白さを覚えた人はぜひとも大長編の全部を読んでいただきたい。」と解説にありました。

『戦争と平和』については10回までは数えながら読んだが、その後はもう数えるのをやめた——と伺いました。

1929年東京生まれ。東京大学医学部卒業。東京拘置所医務部技官などを経て上智大学教授。1979年退職して創作活動に専念。2000年日本芸術院会員。2011年文化功労者。

主な著書に「フランドルの冬」(1967)、「宣告」(1979)、「湿原」(1985)、「永遠の都」(1997)、「雲の都」(2002~2012)、「殉教者」(2016)など。

聴いてみようかな、と思われる方はぜひ、気軽にお出かけください。会員になっておられない方は必ず事前に下記の事務局までお申し込みのうえ、当日は開会時間までに受付で500円をお払ください(学生の方は、トルストイに興味を持ってほしいとの願いを込め、無料としています)。講演会后、講師を囲んでの立食懇親会を開きますので、ご参加くださる方は事前申し込みのうえで受付の際に会員と同額の2000円も別にお支払ください。

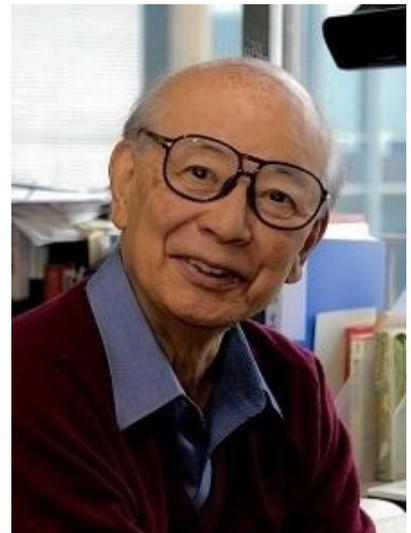
第17回「トルストイを語る会」として行うもので、会員の方には講演会と懇親会についてそれぞれ出欠の返事をお願いすべく、別に案内を出しています。

日本トルストイ協会事務局

(〒154-8533 東京都世田谷区太子堂1-7-57 昭和女子大学 学園本部総務部気付)

TEL 03-3411-6748 FAX: 03-3487-6850

E-mail tolstoy@swu.ac.jp



(加賀さんのブログから)